

# 山笠の魅力ひとつ

## 人形山



▲華やかで迫力のある人形山と、会場周辺を練り歩く地元のみなさん

華やかな飾り付けで来場者を魅了する東西2基の『人形山』。高さは6・5メートルで、重さは約2トンです。それ、山の正面である『表』と、背面の『見送り』があり、武者人形と趣向を凝らした飾り付けは毎年地元のみさんが行っています。

また、園児や会員による太鼓、鉦などによる山囃子、大勢の子どもたちによる「エンヤー、エンヤー」の掛け声が山の運行に華を添えます。山囃子が演奏する曲は古くから親しまれてきたもので、豊作を喜び、祝い、感謝する思いが込められた奉納音楽芸能です。

## 山笠の魅力ひとつ

# 花火

多久山笠のフィナーレを飾るのが、迫力満点のおよそ750発の花火です。

多久山笠2日目の夜9時から打ち上げが始ま  
り、会場周辺沿道の観客の目を引きま  
す。色と  
りどりの花火が夏の夜空を彩り、来場者からは、  
打ち上げの度にどっと歓声があがります。み  
んな美しく、迫力ある花火をぜひご覧ください。

## 山笠を支えるヒント

# 多久山笠若衆会

多久山笠若衆会は、提灯山の運行や運営、曳き廻しや、組立競争など伝統ある山笠を支えて

います。三角・四角提灯山それぞれ取締、若衆頭、組手、囃子、華頭、曳き手である若衆など総勢

64人で構成されています。また、若衆会には、平成22年から女性会員が新たに参加されています。

若衆歴4年の副島末樹さん（写真右）は、「先輩の動きを見て練習を積んでいます。ゆくゆくは女性だけの山を作りたい」と意気込んでいま



す。今年から参加の永川えがわさんは、「小学生の時人形山を曳いていました。毎年ずっと続けたいです」と語っていました。

## 老若男女が集うまつりに



多久山笠保存会  
鳥井 勝久会長

多久山笠は、筋

原区にある天徳寺

に由来するまつり

です。

今後は色々なイベントと組み合

わせて老若男女一緒に楽し  
めるまつりにと考えています。山

笠の『笠』は踊りで被る編み笠を

意味しており、踊りとリンクして  
いるんです。今後は、筋原区、砂

原区のみならず、多久市全体を巻  
き込んで多くの市民が集うまつり  
にしたいですね。

## 第65回 多久山笠スケジュール

■日時 8月15日(木)、16日(金) 18時～

■場所 多久駅北側周辺

■プログラム

8月15日(木)

人形山・提灯山運行 18時～21時30分

人形山・提灯山運行 18時～21時30分

8月16日(金)

人形山・提灯山運行 18時～21時30分

よさこい ソーラン踊り 18時～20時

花火大会 21時～21時30分

■来場者のみなさんへ

両日とも会場周辺の沿道は歩行者天国となります。車でお越しの際は、旧「八口・多久店」跡地広場等臨時駐車場をご利用ください。



■問い合わせ 多久山笠委員会事務局 ☎050-3527-6896